

100年 先を読む

33

廃棄から再生への 転換に 商機を見いだす

■ 廃屋を名所に転換した 外国人建築家

人口の増加が頭打ちになり、さらに地方から大都市圏への人口移動が進行した結果、日本各地で空家が急増している。1980年ごろには住宅全体の9%の330万戸程度であったが、2000年ごろには12%の620万戸、現在では14%で850万戸となっている。そして15年後には30%の2100万戸が空家になるという予測さえある。これは建物の倒壊、景観の悪化、火災の発生などの原因となって周囲の資産価値を低下させる。適切な対策が見いだせない中で、1人で解決した事例がある。

上越新幹線の越後湯沢駅から北越急行ほくほく線の快速列車で30分ほどすると「まつだい」に到着する。この松代は星峠^{ほしとうげ}の棚田、儀明^{きみょう}の棚田など、谷間に展開する棚田の光景で有名であり、多数のカメラマンに人気の土地である。しかし最近になり、新規の名所が登場した。駅前から山道を自動車です約20分も走行して竹所^{たけところ}という集落に近づくと、派手な原色の土壁が目立つ民家が次々と登場するが、これが観光名所として人気になっているのである。

全国各地に共通する現状であるが、人口が減少して過疎集落が発生して民家が空家になっており、竹所も例外ではない。そこに到来したのが日本の茶室や民家をヨーロッパに移築する仕事をしていたカール・ベクス夫妻で、竹所に魅入られて定住するようになり、廃屋同然の民家を派手な建物に次々と改造し始めた。それが話題となって

人々が見物に訪問するようになっただけではなく、何人もの若者が都会から移住し始めて集落の人口が増加に反転するまでになった。

■ 廃品を商品にした成功事例

このような再生は空家だけではない。国土面積あたりの鉄道路線延長が世界3位の日本の鉄道も最近では廃線が増加している。岐阜県最北部にある神岡鉱山から鉱石を運搬するため明治末期に敷



竹所でベクス夫妻が改造した建物

設された馬車鉄道の神岡軌道は軽便鉄道に転換し、戦後は旅客も輸送する神岡鉄道に発展したが、2004年に廃線になった。しかし、地元の人々が線路を自転車で行くレーンバイクに再生したところ人気になっている。このレーンバイクは各地に登場し始めている。

廃線寸前の鉄道が再生した事例もある。茨城県内で運行している「ひたちなか海浜鉄道」は2008年に第三セクターに移行してから経営状況が急速に改善された。公募で就任した社長が「メイドトレイン」などを企画して業績が向上したことを契機に、地元有志が「おらが漆鐵道応援団」を結成、観光案内や路線清掃などを分担した効果もあり、乗客も収益も増加してきた。資金不足のため全国の中古車両を塗装も変更せず走行させた結果、鉄道ファンが殺到することにもなった。

日本楽器製造（現在のヤマハ）の川上源一社長が1950年代に創設した「ピアノ貯金」により同社は世界最大のピアノ製造会社になり、日本は世界最大のピアノ普及国家になった。しかし、子供の成長とともに多数のピアノは家庭の粗大ゴミとなっている。そこで現在、それらを下取りして塗装と

調律をし、中国を中心とするアジア諸国へ輸出した結果、年間360億円以上の輸出商品になっている。これらは廃品を新規の商品に転換した成功事例である。

■ 過去の知恵と未来の技術の活用

ここまで紹介した不要な廃品を有用な商品に転換する仕事は、個人、住民、中小企業などの発想から誕生したものが大半であるが、そこには2種の手段がある。第1は過去を手本とする商売である。江戸時代の生活を反映した3R（リユース/リデュース/リサイクル）が格好の手本である。最近、古着を販売する商売が流行しているが、古着の流通は江戸時代の庶民の生活に根付いていたものであるし、廃物の利用は木灰や糞尿にまで波及していた。

第2は最新流行の情報技術DX（デジタル・トランスフォーメーション）を武器にする方法である。不要になった物品を質屋で金銭に交換する手段は江戸時代から存在していたが、あらゆる廃品の交換をインターネット経由で可能にしたのがメルカリで、マザーズに上場するまでに成功している。

重要なことは、それらの商売を利益だけの視点から工夫するのではなく、大量廃棄がもたらす環境問題や社会問題を解決するという視点で発想することである。



東京大学名誉教授
つきおよしお
月尾嘉男
Tsukio Yoshio

昭和17（1942）年生まれ。東京大学工学部卒業。工学博士。コンピュータ・グラフィックス、人工知能、仮想現実、メディア政策等を研究。全国各地でカヌーとクロスカントリースキーをしながら私塾を主宰し、地域の有志とともに環境保護や地域計画に取り組む。著書に「幸福実感社会への転進」（モロロジー研究所）、「転換日本」（東京大学出版会）ほか多数。